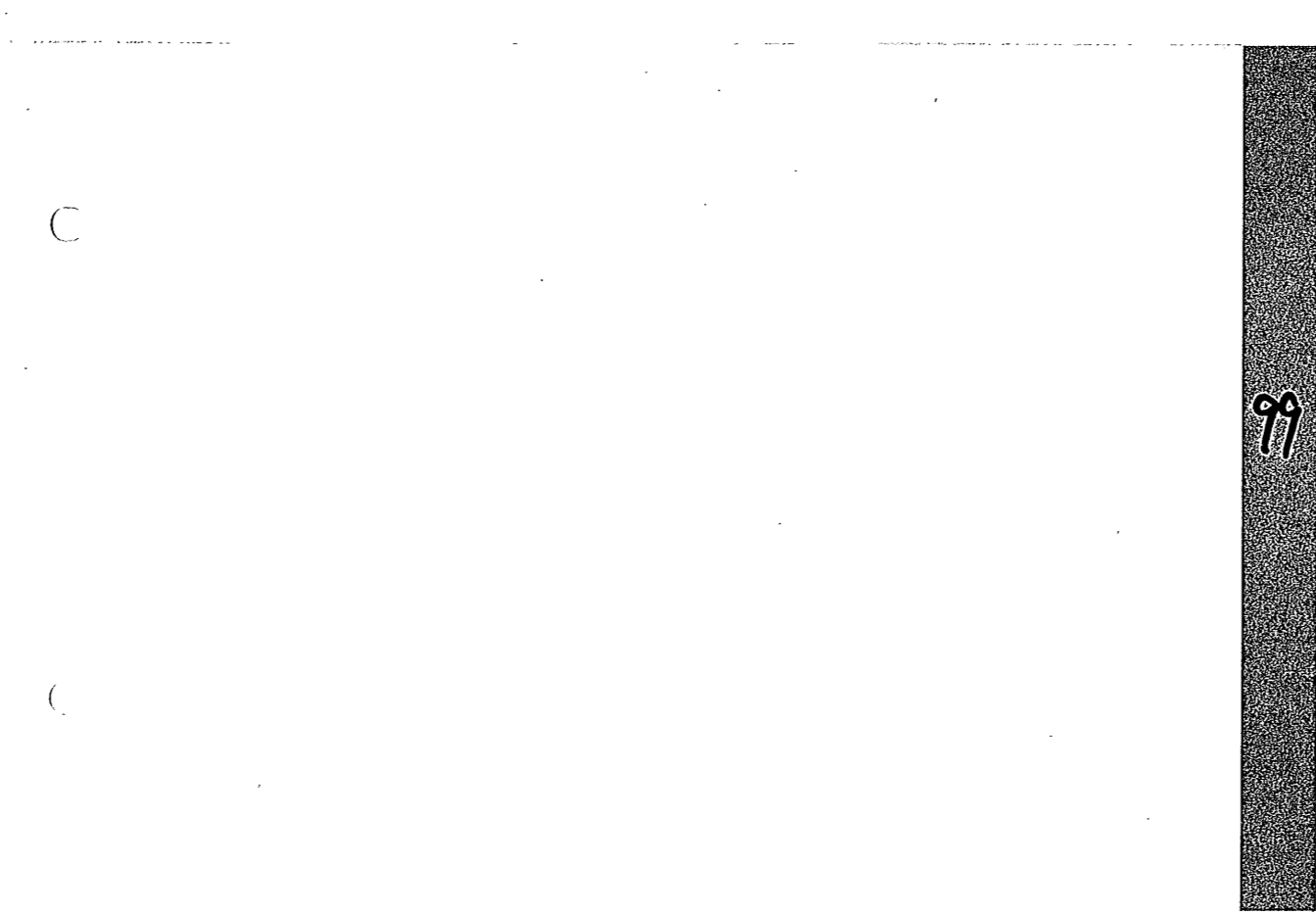


琉球大学学術リポジトリ

1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.2

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43897



C

99

格
新

次長
森田 官
昭和 26-10-2

衆議院
今野
多毛

下地局長
半島
多毛

沖縄返還問題 - 愛知大臣が2次訪米に付

米北一長

昭和 26. 9. 16 記

今般の2回にわたる交渉に付加後、一定の進展が認められた。次々とあり。

1. 米側は交渉を速めようとの意思が高まっている。

(1) ストーカー公使が過去に12月の日米交渉の成果

を指摘したことから、内閣府内に話が入り、12月の愛知、山口、スエーデンに「何となく自ら非難に思われ

大臣の解決促進の意思が受けた。

となつて、法律家としての意見を生かすに務めると共に、解決方法を探求し、15日に再度大臣と協定した。

(2) 「何となく」の頭が早く、しかも沈着であり、内閣府もそれに服してゐる様子であり、その二つを大統領

とも相対して、~~米側~~に米側内部に自信が感ぜられた。

又、但し軍部、国防省は貿易交渉は~~米側~~に有利

LP-1 国防長官以下は事態の進展を喜ぶこと

二、数日未だ再検討を要し、満足な解決に向つ

てゐるとして、内閣府に強い圧力をかけ、交渉を速め

内閣府は12日愛知が2次訪米の成果を踏まえて、交渉を速行するつもりで、交渉が成功すれば自信が

持てる。総理訪米中の途程は予備的だが、
24日、日米間の関係は、(米側に有利)に進行してゐる。
(米側)

3. 残る問題点 - 一言と実質

(1) 今回合意を通じ、韓国、台湾の一言に付いて概ね

双方も一致の意見があると思ふ。(他は60年11月の
合意を以て)が、基本的な問題点を概ね解決

しており、米側はこれに当面最大の難問(全に国内的)

を乗り越えたいと思ふ。一言に付いて若干の歩み寄りがあつた。

実質に同じ話が出ている。(右方核と行政に)

7月24日米側 - 軍部が在日公務員内にも - 非公中
取決出正要求が声か後(由)

(2) 財政問題に米側が米側の予定の方針が示され、
取不致 福田首相。行政に財務長官は進行中

形と右の通りだが、今後の支拂の成り行きは
が予定された。VOAに7月24日米側が
再度有既希望を出した。当方、米側が態度を

表明した場合には、極力その困難が予定された。

4. 総理が米側で倍用の努力が必要

(1) 今次会議は文言面での若干の進展を認めておられる

双方の解決の決意の強さがあつたことが明かされた
ことと意義があつた。特に重要問題は中心に今後

総理が米側の2か月定了するに
始り(注) 米側が

米側と相互理解が必須であること。言正信を
(2) 幸い、米側が米側と同業者当り者、当方(米側)

局長以下)と極力密接な関係にあること。今後
米側は当り者度、非公式に米側が米側に進展
する(注)

米
の諸化正助等と米側と米側に米側に米側に米側に
(3) 軍部代表の米側と海軍少将等(注)の
23日)

背後の米側と米側に米側に米側に米側に米側に
知己が少くない点に米側に米側に米側に米側に米側に

右の10月の米側と米側に米側に米側に米側に米側に

(4) 一般的に米側と米側に米側に米側に米側に米側に
(の相互理解と信託)

米側に米側に米側に米側に米側に米側に米側に米側に

(注)① 今月の米側と米側に米側に米側に米側に米側に
米側に米側に米側に米側に米側に米側に米側に米側に
今月と米側に米側に米側に米側に米側に米側に米側に米側に

② 米側は DEEP 米側に米側に米側に米側に米側に米側に